

# 市民協働かわら版

No.28

発行：泉南市総合政策部政策推進課  
〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一丁目  
TEL：〇七二一四八二〇〇〇四

(平成二十八年十月十一日発行)

九月二十八日(水)に平成二十八年度第六回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市民協働文化財センターで開催され、十二名(市民九名、職員三名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】  
当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

## ①市広報「広報せんなん」について

「毎月家庭に届けられている「広報せんなん」が、市からの行事案内のみとなっているのがもったいなく思う。行事の周知等が1番の役割であるのは理解できるが、もう少しいろいろな方が興味を持ってもらえるように、市の魅力をもっと前面に押し出すような紙面づくりや市の木、花などを紹介するページ等

## \*秋の文化祭を開催しました\*

九月二十二日(木・祝)に「第4回秋の文化祭」【場所：泉南市立文化ホール】を開催しました。

当日は、雨が降ったり止んだりの不安定な天気でしたが、たくさんの方に来場いただきました。

会場内では、りんくう翔南高等学校の軽音楽部、信達中学校のギター&マンドリン部、一丘中学校の合唱部、泉南中学校の吹奏楽部・軽音楽部、西信達中学校の吹奏楽部が日頃の練習の成果を発揮し、見事に歌や演奏を披露しました。

また、最後には多方面で活躍されている電子オルガン奏者の松本裕樹さんの演奏もあり、会場は出演者と来場者が一体となりました。



を掲載してみてはどうかと思う。イベントを開催する案内はあっても、開催後の感想などが少なく、イベントの内容がわからない。市内の著名な人物などにスポットをあて紹介していくことも行ってみたいは。」

## ②泉南市について

「泉南市は災害も少なく、比較的住みやすいまちであるが、市民が高齢化してきており、このままではという危機感がある。定住移住策を講じて、居住者を呼び込んでいかなければならない。」

行政に関して関心が低いように思える。これからは、行政頼みではなく、一人一人の市民が主役だという自覚を持って、市民主体の時代だということを認識するべき。

定年退職した人の活躍できる場が少ない。例えばであるが、小・中学校の空き教室などを利用し、高齢者の料理教室や文化教室に利用できないか。一部の自治会集会場では生きたい活動を行っているが自治会単位ではなく、もっと拡充していったほうが活性化に繋がる。まちなかケアサロンや子ども食堂なども検討してみてもいいは。」

他にもいろいろなテーマがあり、時間がたつのも忘れ、参加者の皆さんが活発に、自由に、楽しく話し合いをしていました。

次回は十月二十六日(水)午後一時三十分から市立東小学校で開催する予定です。で、多くの市民の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。



泉南マスコットキャラクター  
「せんなん」  
泉南観光部「せんなん」